

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4079200285		
法人名	株式会社ケアシテム		
事業所名	グループホーム香春		
所在地	田川郡香春町香春776-2		
自己評価作成日	平成26年4月6日	評価結果確定日	平成26年7月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/40/index.php?act=ion_kouhyou_detai_2013_022_kani=true&ji_gyosvoCd=4079200285-00&PrCd=40&Versi_onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡県福岡市博多区元町1-6-16	TEL:092-589-5680	HP:http://www.r2s.co.jp
訪問調査日	平成26年5月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>職員の人数を増やし、行き届く介護を心がけています。その他は日常の支援から、リハビリまで力を入れ、身体能力の低下防止に努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム香春」は香春岳の麓の広い敷地内にある事業所である。開所から10年が経過し、利用者の機能低下が進んできているが、体操や可動域を温存するリハビリに力を入れている。家族の介護からくる精神的不安を取り除き、高齢者が安心して過ごせるような居場所作りをしたい、という思いを大切にしなが行き届いた介護を目指して職員が心一つに頑張っている。代表が地元出身であることの強みを生かして行政や地域との繋がりも密接であり、香春神社のお祭りには、敷地内を提供して出店が立ち並び、利用者や地域の方たちが一緒になって楽しんでいる。地域との更なる繋がりを深めながら、安心・安全を大切に施設へと大きく羽ばたいていかれることに期待が高まる事業所である。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	つなげている	開設時の理念を6年前に前管理者と職員、施設長の3人で見直した。「利用者の人格を尊重し個々に応じた介護を行う」等3つの理念を玄関に掲示し、施設長が毎朝の申し送り時に、理念を元に介護や言動に気を配るよう伝達しており日々のケアに活かされている。	玄関だけでなくスタッフルームなど目に付きやすい場所に掲示し、理念が職員の日々のケアに更に活かされることに期待したい。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お祭り等を通じ交流している	年2回の地元の神社の祭り開催時には、事業所の敷地も提供して屋台を出して参加し、利用者や職員が地元の方たちと親しく交流している。近隣の農家から野菜の差し入れをもらったり、地域のボランティアが来訪して、三味線や踊りなどの出し物をしてきている。	地域の方が気軽に来られるように、近隣の方を招いた行事や、自治活動の参加などを検討されてはどうか。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出来ている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出た意見は積極的に受け入れ、採用している	会議には役場や包括支援センターの職員、近くの事業所の管理者などが参加している。利用者の近況や問題点、課題等を報告し、役場の職員からの報告もあり、活発な意見交換を行っている。地域の方にも声を掛けているが参加に迄は至っていない。議事録は閲覧できるようになっている	地域や家族に会議の案内をすすめて参加者の幅を広げるとともに、会議の議事録を送付する等、会議で何が話されているか等を知って貰うなどの取り組みに期待したい。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当者とは関係が十分に築けている	役場とは元々顔なじみの職員も多く、関係者もいたため、日頃からつきあいが深い。介護保険の更新時以外でも役場に出向く事も多く、入居者の紹介を受けたり、困った時にはいつでも気軽に相談に乗って貰っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない	玄関の1カ所は施錠しているが、ユニット間の行き来は自由にしている。以前、離設者があったが、地域の方にも協力して貰ってすぐに対応できている。ベッド柵等の拘束は行っていないが、必要な方だけ夜間の赤外線センサーを利用している。言葉かけ等は申し送り時に常に口頭で指導している。	今後は、職員の外部・内部研修の充実に努められると共に、マニュアル等を掲示するなど周知徹底が進められることに期待したい。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	努めている			

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	出来ている	制度の活用は今の時点では該当者がいない。管理者は外部研修に参加しており、マニュアルは準備している。必要時には役場の職員などの専門家に相談したいと思っている。職員が制度を熟知するまでには至っていない。	職員の理解を深める為に、外部・内部研修の充実を図ると共に、社会福祉協議会などが配布しているパンフレットの活用等の取り組みに期待したい。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に時間をかけ行っている		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	出来ている	家族会は仕事の都合等で参加できない方が多く結成されていない。要望や苦情は面会時に聞いたり、面会に来れない方には電話で聞いている。内容は申し送り時に職員と話し合っって対応している。月1回の散髪を2カ月1回に変更して欲しい等の要望が出され、すぐに対応して喜ばれている。	家族の要望をいつでも聞けるようにするために意見箱の設置を検討されてはどうだろうか。要望が改善された時などは、毎月送付されている「近況写真」に書きこんで周知されるなどの取り組みにも期待したい。
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員とは時間をかけ、いろいろな話をしている	入居者の状態や職員の提案などは、朝夕の申し送り時に施設長も含めて皆で話し合っている。外レク等の要望は、職員全体で話をまとめて施設長に伝えれば全て実践できる事が多い。ユニット合同の会議は必要に応じて開催している。施設長には何でも気軽に話すことができる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別・年齢で採用を左右されることはなく、権利を重視している	20代～40代までの比較的若い層が男女を問わず採用されている。資格取得を希望すればシフト等の調整で支援されている。それぞれが特技を生かし、調理や行事を担当したり、壁飾りを作る人などお互いに役割分担をして皆で協力合っている。職員間のコミュニケーションも良好である。研修会は案内の書類に目を通してはいるが、参加希望者は少ない。	今後は外部研修会などの案内や参加の働きかけを積極的に進め、報告研修の実施等で計画的な学習の機会を確保されることに期待したい。
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	朝夕の申し送りで確実に伝えている	勉強会等は実施していないが、施設長が朝夕の申し送り時に言葉遣い等について指導を行うと共に気づいた時にはその都度、個別指導をしている。必要な事例は申し送りノートに書いて周知し、改善に繋げている。	人権啓発の問題も含め、行政が発行しているパンフレットなどの活用を進めると共に、外部研修に参加した職員の伝達研修を実施するなど職員への周知が進められることに期待したい。

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来ている		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全職員ではないが行っている		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時間をかけ行っている		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族とは時間をかけ要望等を聞き出している		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	支援を見極めているし、もちろん他サービスを勧めることもある		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に築いていっている		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	協力的でない御家族もおられるが、共に支える気持ちを持ち、できる限り行っている		
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来ている	入居者の重度化が進んで、事業所の外出は減ったが、家族に協力してもらって、自宅外泊や外出支援をしている。友人や知人の来訪はあり、希望があれば手紙を書いたり、電話をかける手伝いをしている。	状況の変化により、外出機会は少ないが、個別ケアの検討などにより、馴染みの場所や人との関わりがもたれていくことが望まれる。

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員が輪に入れるように、創意工夫している		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に本人の意向を探り出し、把握している	計画作成担当がアセスメントを行い、本人や家族から聞き取っている。ケアチェック表の見直しは6ヶ月で行い、現場の意見は申し送りで共有している。意思疎通の難しい方には表情などを読み取って意向の把握に努めている。	認知症が進んで意思疎通が難しい方が増えたが、センター方式の活用を検討したり、アセスメントを取り直していくことなどが望まれる。
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	常に本人の意向を探り出し、把握している		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日三回のバイタルチェックに加え、身体状況は神経質に確認している		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来ている	計画作成担当者がプラン作成とモニタリングを担い、モニタリングは毎月、プランの見直しは半年ごとに担当者会議と共に行っている。ユニット毎にケアプランを1つのファイルに纏めてスタッフも見られるようにしており、申し送りでも情報を共有する。	ケアプラン作成時に家族からの意見も聞き取っているが、介護保険更新時などの担当者会で家族に参加してもらったり、他職種からの意見なども頂いてはどうだろうか。また、スタッフの担当制などでスキルアップや業務割振りが検討されることにも期待したい。
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りを確実にし、実践している		

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々客観的に見る・考えることを行い、先読みの努力をしている		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来ている		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	出来ている	希望があれば、以前からのかかりつけ医を利用することができるが、基本的には説明、了承の上事業所の提携医をかかりつけにしている。提携医の往診が月2回あり、通院も事業所が支援している。看護師が健康状態を管理し、毎月の受診結果は報告用紙にまとめて家族に報告している。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に様子観察を行い報告がある		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	出来ている		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	特に主治医と話し合いが出来ている	今までに数例看取った方がおり、契約時に家族に方針を説明し、重度化の際に改めて話し合っている。提携医も夜間、緊急体制をとっており、ターミナル期の方がいる時は医師とも協力して、事業所内でも情報を共有し支援にあたっている。	
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	出来ている		

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーもあり、安全だとは思いますが、地域との協力体制の約束はない	年に2回防災訓練を行い、内1回は消防署立会の元訓練し、夜間想定でも行っている。スタッフも避難手順を理解しており、訓練の担当もローテーションでそれぞれが当たるようにしている。	地域住人への呼びかけや、参加がなかったもので、非常時に備えて、地域協力体制を築いていってはどうか。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとりひとりの人格を尊重し、行えている	申し送りによって、スタッフの言葉遣いや、不用意な露出を避けるプライバシーへの配慮を注意している。入居時には個人情報利用の同意を得ており、情報の取り扱いに対しても随時指導を行っている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に働きかけている		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来ている		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来ている		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る人が率先し、メニューの変更や嗜好を凝らした食事の提供に心掛けている	メニューは年間で作成されており、それにそって買い物、調理からスタッフが行っている。以前は入居者と一緒に買物に行くこともあり、今も下ごしらえなど出来る事は手伝ってもらっている。食べたいものや感想などは会話で聞き取り、対応もしている。行事食や、誕生会などにはケーキも手作りして、スタッフも同じテーブルで食事を楽しんでいた。	差し入れなどを使ったり、行事食などで変化を持たせていたが、旬のものを取り入れたり、地のものを使ったりと、日々の食事に変化をもたらせるような検討をされてはどうか。
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	常に把握・記録し行っている		

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行えない方も数名いるが、できる方には確実にやっている		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄の間隔を把握し、トイレ誘導を行うとともに、全員の方にトイレで排泄してもらっている	個人チェック表を使って一人ずつ排泄状況を把握しており、訴えない人には様子や仕草を読み取り、大体の時間を決めて定期的にトイレ誘導している。チェック表には最終排便日を記録することで、便秘予防にも水分を多目に摂取するなどの配慮を行い、申し送りで情報共有している。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に関しては神経質に、毎回申し送りで確認し、対処している		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	物理的に無理なため行っていない	基本的には2日に1回、13時から15時の間に入浴してもらい、希望があれば毎日でも対応することがある。順番は曜日で変えて不公平がないようにし、時間は人に応じて長湯する方もいる。拒まれる方にも声掛けなどを変えて、なるべく決まった曜日でも入ってもらえるように働きかけている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来ている		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に薬剤情報を確認し、ほとんど把握できている		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ている		

H26自己・外部評価表(GH香春)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行えてない	以前は外出行事などを行っていたが、安全のために今はしておらず、車で遠出することはなくなった。日常的には敷地内の舗装された場所を通ることで安全に、車いすの方でも外気に触れる機会を持ってもらっている。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	人数は本当に限られるが、自己管理が可能な方はされており、よく自販機でジュースを買われている		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来ている		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調の調節を行い、壁は白で統一している	平屋建てで左右にユニットを配しており、周囲も開けているため風通しもよく、日光もよく採り入れられて明るい。横長の広めのリビングで、オープンキッチンで調理の様子も身近に感じられる。ソファなども使いやすい位置に配置され、入居者も思い思いの場所で休まれていた。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースが比較的広いため、出来ている		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来ている	居室はリビングに直接面しており、地続きのバリアフリーにされている。介護ベッド、クローゼット、キャビネットは備え付けられており、仏壇など使い慣れた物を自由に持ち込んで部屋づくりがされていた。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりを設けている		